

2024FIM アジア国別対抗戦第1戦 ウィメンズカップ・オブ・サーキットレース

ふじわらしずか 藤原雫花選手が Race1、Race2 を制し、日本が総合優勝

8月30日(金)～9月1日(日)にタイの Nakhonchaisri Thailand Circuit にて行われた、2024FIM アジア国別対抗戦第1戦 にて、ウィメンズカップ・オブ・サーキットレースに日本代表ライダーとして派遣された TEAM MARI 所属 藤原雫花選手 (16歳) が、Race1、Race2 とともに1位を獲得。日本が総合優勝を果たしました。藤原選手、おめでとうございます。



- ▶練習・予選：練習ではタイムが伸び悩み、タイ、中国、台湾、インドに次ぐ5番手になっていましたが元アジア選手権ライダーのアドバイスを受け、予選でトップタイムを出し2番手とコンマ1秒差でポールポジションを獲得。
- ▶レース1：タイの選手との競り合いが続くが、3周目にトップに立つとそのまま1位でフィニッシュ。他のライダーをまったく寄せ付けず若干16歳が貫禄の優勝を見せました。
- ▶レース2：タイのライダーが完璧なスタートをし、ホールショット。2位の藤原選手とは7周目に0.3秒差に広がりましたが、最終ラップの1コーナーでタイの選手をかわしトップに立ち、逆に0.3秒差をつけて優勝。総合優勝を獲得しました。
- ▶OFF SHOT：今大会ウィメンズカップということもあり、コース場外においてもスマートフォンを有効活用するなど、各国のライダー同士が今までにない非常にいい国際交流を図ることができていました。

◆藤原雫花選手のコメント

初めての海外でのレースでしたが、両レースとも決勝は優勝することができとても嬉しいです。今回参戦させていただき貴重な体験ができました。応援していただいた皆さん、ありがとうございました。これからも頑張っていきます。

【大会概要】

本大会はアジア圏内のライダーレベル向上、特にアジア各国に於ける若いライダーの交流促進を主目的として設立された国別対抗戦で毎年開催されています。各国代表ライダーは最大2名までとし、どちらかの良い成績がポイントとして反映されます。これはライダー1名での参加も可能とするものであり、より多くの国の参加を促すことを目的としています。今大会は、ウィメンズカップとして開催され、アジア各国(10ヶ国)の女性ライダーによる戦いが繰り広げられました。

- ・参加国：イラン、インド、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国、ネパール、日本、フィリピン(日本語表記順)
- ・使用車両：DEMON GR200R

このリリースに関するお問い合わせは………
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
〒104-0045 東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10F
TEL: 03-5565-0900(広報係) / email: mfj@mfj.or.jp